京城日日新聞

社説
內地人の聲に耳を假せよ
（下）先づ全鮮實業懇話會の決議を熟讀せよ

先頃開催されし內地人の全鮮實業家大會は朝鮮各地に於ける鮮人思想の惡化が如何に甚だしきかを語り、又排日思想の如何に甚だしきかを語り、從うて是が爲め各地內地人が脅威と不安と不愉快に陥り內地人の寡少なる土地に於ては鮮人より侮辱を受けながら、隱忍含默、之を忍ばざるべからずと云ふ狀態なりと云ふ、其事實を聽くもの憤慨せざる無し、朝鮮各地の現狀斯の如くなるを以て朝鮮の奧地に在る內地人は漸次其土地を引揚げて內地人の多き都會に集まり、又は內地に歸還するもの多く、朝鮮各地の內地人は漸次減少を來し居る狀勢なり、又朝鮮の奧地に於ける內地人の事業は鮮人に妨害されて、中止又は廢止する外無き狀態を呈し居れる模樣なり、我當局者は此現狀を聽取して如何の感ありしか、吾人の聞かんとする所は即ち此に在るなり、朝鮮に於ける內地人の消長は直に朝鮮の開發に關係するのみならず、實に亦朝鮮の統治に關係することは賢明なる當局者の夙に熟知する所と信ず、即ち內地人の朝鮮移住は我日本の激增せる人口移殖策として盛に獎勵せざるべからざるのみならず、實に亦朝鮮同化の上より之を獎勵せざるべからざるは吾人の多言を俟たざる所と信ず、然らば總督府當局者は單に朝鮮人の向背と感情に重きを置きて內地人の消長を冷眼に付する如きは實に朝鮮統治の要訣を知らざるものと言はざるを得ず、實業家大會の時局對策と內地人保護に對して當局者に建議せんとして決議せる事項は左の如し

一　人心不安定の地方に守備兵の配置を密ならしめられたきこと

二　賞罰を明かにし良否の鑑別に遺憾なきを期せられたき事

三　治安維持に必要なる警察機關の充實は其數より實に重きを置きて能率を增進し且つ鮮語を解する內地人警官の增加を圖られたき事

四　鮮人の思想を善導し產業の發達を期する內地人の移住を容易ならしむる方法を講ずる事

五　前項達成の方法として全鮮の鐵道網を速成せらるる如きは最も有効なる手段なりと認むる事

六　產業の開發に十分の力を用ゐ企業經營を容易ならしむると同時に適當の保護を與へられたき事

七　鮮人の敎化に就宗敎の力最も大なりと認むるを以て布敎に對しては十分の便宜と保護を與へられたき事

八　經濟施設に關する重要法令の發布に就ては成るべく民間相當機關の意見を徵せられたき事

九　各地鮮人青年會の現狀は往々常軌を逸するの傾向ありと認む因て適當の取締を講ぜられたき事

此他決議事項には漏れたるも軍隊の增置、憲兵の增置は不逞鮮人膺懲、時局拾收策として最も必要なることは滿場一致の希望なりしが如し、是亦當局者の一考して可なる重大事項と信ず、何れにせよ當局者は單に下僚の報告と進言のみに依らずして、民間の聲と民間の希望にも熱心に耳を傾け心を注ぎ以て內地人の要求と希望を容るゝことに努力せざるべからず、內地人の保護と內地人の移住と事業の獎勵は即ち朝鮮統治上の一大勢力として急務なるを知らざるべからず。

比律賓紀行（五）
小林　淺吉

マニラ港は西班牙時代には簡單な木造棧橋があつた丈けで、ランチの外、大船は皆沖繫りの狀態であつたのを米領に歸してから工費二千萬圓を投じて改築したものである。先づパシッグの南岸マニラ城の西方に廣大な埋立地を造つて、其處に六百五十尺と六百尺の鐵筋混凝土棧橋を築造し外面に長さ二哩の防波堤を作つた、棧橋の上には亞米利加式の上屋が造つてあり、其の中には電氣クレーンが据付けてある、棧橋附近の水深は三十呎で客船は何れも此の棧橋に横付けになる。之れを東洋第一の良港を以て知られてゐる大連港に比べては、物の數にも入らないが、港としての設備は充分に出來てゐる但し服部丸の如き貨物船は依然沖繫りの狀態で棧橋に繫留することを許されぬ

此の港のすぐれた點は、パシッグ川を浚渫して吃水十八呎以下の船をエスカルの橋手まで溯江し河の兩岸に繫船し得る樣にしてあることで、小汽船は、全部此處に繫船する、市の中央部尤も殷賑を極むる商業中心地區に近いので商人の受くる便宜は非常なものである。比律賓群島の貿易輸入約二億（ペソ）輸出約二億七千比（大正七年）の四分の三は、マニラ港で行はれるので、港內には常に大船小船が繫留して居り、日本船も日本郵船、東洋汽船、大阪商船、大連汽船等の船が常に往き來しつゝある、日本との貿易は、殆ど全部マニラに於て行はれるので、支那、米國の貿易の如きも、他港で行ふのは殆ど全部マニラに於て行はれるので、支那米國の貿易の如きも、他港で行ふのは殆ど輸出品のみに限られてゐる、他港とはイロイロ、セブー、ホロ、サンボアンガ、ベラバックの四港で此內サンボアンガには濠洲行きの日本船が着く。

西伯利の瞥見（九）

三　夫婦

女子結婚の目的上述の如くなるを以て男子に嫁せんとか自己の意の儘に猥褻交際場裡に出入の機會多りし虛榮心の滿足を求めんとし收入乏しき夫を泣かしめ此享樂の爲めに結婚せし女子は其目的を果し能はざらんか去りて第二の夫を物色するに至るを以て夫は成るべく婦人の歡心を得んことに努め婦に對する精神上の不滿を抑壓し婦の意思を放縱する結果公然に從容するに至り夫婦間は精神的に圓滿なるものと認むる能はざるものあり

夫の目前に於て、婦曰く「先夫は私に滿足を與へたり、現在の夫は老年に過ぐ」と語り平然たり、或は夫と住所を異にせる婦人曰く「我夫は現在病氣なるも私は夫の看病を目的に嫁せしに非ず看病の爲めには看護婦あり　私は家畜を保護せざるべからず」とて病夫を顧みず、務に傾臥する夫たる官吏を慰安する誠意なく或る隊地に家畜を飼育するを以て離婚せざるなり」と稱す、あるも夫婦關係の離婚せんと考へつ「現在の夫より離婚せんと考へつゝ使用しある、婦人あり又或婦人の例に夫婦關係の感情稀薄なるかを知するを得べし是等の婦人には貞老局穴なる意味深遠なる結婚を持藥として服用せしむるの要あらん

新刊紹介

■健康（創刊號）　健康はあらゆる富貴名譽に勝ると謂ふモットオの元に難解な專門智識を有益に讀ましめやうと云ふ經營らしい。發小主なるもの衛手醫學博士の「健康增進上の六大法則」原博士の「衛生と治療の革命」澤村農學博士「肉食と菜食の比較」石川博士「人間の人工胎」其他（定價金廿五錢東京市麴町區飯田町其社）

既定のプログラム
山隈會見期

▲山公の入京之に續いて公侯の會見は政界の一問題として識者間の注目となり、或は此會見を以て大山隈握手の一幕なりと吹聽するものある一方にありては之を以て全く

▲政黨の策動なりとするあり、さなきだに政界樞軸の寂しきに際し公侯の會見は少なくとも其價値を認むるに足る可しとせられたるなり然るに本月初旬山公の小田原より歸りてより既に旬日餘、公の奔走は却て或は西園寺、松方、平田等との間に於ける來往に過ぎず、公入京の第一用件を以て

▲山隈の會見にありとせし、風聞子等は漸く其觀測上遊び始め、政界にも新聞紙上にも觀測徒らに臆測に入り、或は當初の報道を打消すなど渦瀾を極めつゝあり。然るに茲に此種の觀相の一端を報道せんに山隈の會見は兩者の間に暗默の了解あり、尤も本春隈侯の小田原に對し前波多野宮相を遣して致せる會見申し込は例の某重要外交問題が

▲事態重大に關するを以て放棄し難しとせるにて、此問題と此度の會見とは全然其理由と性質を異にせり、今次公侯の會見の決意に至れる經過に關しては茲に明須するを避くべしと雖も、要するに兩者の現閣の失政並に國民思想惡化、對外諸政に關する意見の一致せるものある結果に外ならず、只流石に會見の事の餘りに世の風聞に上りたる爲め公侯の間に多少煩瑣の念を起し居るは事實なるも難忌らず

▲會見は事實として遠からず運ばるる事なるべし其時期並に場所等に就ては固より之を明かにせるざるも此會見は公侯の間に政局打開の其所に兩者の落合ふ段取なるべし、世間動もすれば山公入京以來專ら他の主題たりし、隈侯との會見を除所に他方面に奔走を爲しつゝある故を以て會見談の立消えとなれる如く解するは當らず、而して公が目下

▲奔走の主眼とする所は單に內大臣問題に外ならず、由來松方侯の久しく內府の要職にあり、侯の再三の辭意も猶往再として實現に及ばざりしか、當に於ては山本權兵衞伯を推さんとの暗中飛躍あり、山縣公は夙に西園寺公を推擧しつゝあるも、公は私かに齋中の人物平田子を推さんとしつゝあるにて、公昨今の奔走全く此點に外ならざるは謂ふ迄もなし、かくて本問題の近く

▲一段落を告ぐると共に愈て豫定のプログラムに從つて兩者の會見となり、之を機として政局には重大なる意味の實現を豫想すべく、頗る興味ある經過を呈しつゝあり。

創作
熱光の下を（三五）
曉谷

此れから先は日記に綴つてゐる分を引用してみやう。——尤も此の日記は、私の一番正直な告白ではあるし、お前が嘗て披いて見たことの新しいものだから、其時分の事を書くには最上のものだと思ふから。

十一月八日。

お糸は遂々顏を赧らして黙つた。俺は彼女と言ひ爭ひをしてゐる內に遂々腹が立つて來た。實らない言葉とモット言ひたかつた。俺の主張に征服されて、俺の理論に同化する迄言ひ張りたかつたのだ。けれ共、その爲にお糸のお両親を氣まづくさせることを心配して我慢してゐたのだ。狹隘な主張に囚はれて、是が非でも勝ちたがる女によくあるやうな傲慢な捨言葉で「偉さうに、大きなこと許り言つても、するだけのことをして居ないと今に素破拔かれるのさ」と言ひ作ら廚の方にお糸が去ると、俺は無闇に腹が立つて來て、矢庭に煙を吹かした。暗い、重苦しい氣持ちの中に突落とされた俺は半分自棄氣味になつて、言ひ通せなかつた氣まづさと、お糸に先を越されて嘲笑された事が、怪しいまでに頭腦の筋道をこんがらがつて來た。「遂々、怒つたな」と云ふ風に、一寸侮蔑的な顏色を見せて、何うだ見ろ、この一言は怖いだらう。嫁に來て二ヶ月も經たない內に、着物を質に入れたりしたことを往の前で素ッ破拔かれたくはなからう。お前さんの主張に反抗するならして御覽。第一にこれを素破拔いてお前さんの親達の不德義を順々に並べ立てて、お前さんのまづい顏を見てやらう。へツへ。……こんな氣持ちを、俺は鮮かにお糸の顏から讀んだ。何と云ふ我儘な侮辱だらう。

お糸は俺のことを無視してゐる。師走に指輪を買つてやつたのも、お糸があんなにして呉れたから何かの埋合はせにと云ふ氣で買つたのに——然し、お糸がこの日記を讀んだら、又例の鋭い表情になつて「こんなもの要りません」と突走つた際で突き戾すだらう。俺にはその時の光景がまざ〳〵と目に附く。——あ、あ。嫌だ。俺には執愛があるのだ。さうだお糸を捨て切れない愛着があるのだ。今、俺はその事を否定してゐるが、有る事は確だ。女は殉情的なものだと思つてゐたのに、打算氣も強いぞ。捨鉢になるのも早い。

「こんな事だつたら、妾はもう歸ります。着物を質に入れる爲に來たのぢやありませんから」

お糸は大變な權幕で、腹立たし氣に言つた。俺は愛の不足を訴へたいやうな、泣出したいやうな情なさを感じた。餘りに俺の心の立場と、隔離が離れてゐるぢやないか。

夫婦のものが精神的に結びついてゐない事ほど慘めなことはない。お糸は結婚と云ふものに就いてはほんの輪廓的な概念しか有つてゐない。

俺は精神生活が物質の上に土臺を置いてゐないとは思はないが、斯う云ふ些細な物質問題から、夫婦の精神生活が崩れて行くことは悲しい事だ。

お糸が急に立ち上つた。

「質屋でもようございます。」妾は歸ります」俺は、最う駄目だ！と叫んだ。簞笥の前に行つて着物を取り出すお糸を見た。

京畿江原 兩道貫通自動車開業廣告

大正九年十月十五日ヨリ晴雨ニ不關運轉開始ス

半島交通機關ノ不備不完全ハ產業之發達旅客ノ往復ニ至大ナル障碍ヲ來シ國利民福ノ上ニ至大ノ影響有リ方今自動車ヲ以テ交通營業ヲ爲セル者アルモ隔靴搔痒ノ憾ニ堪ヘズ之等ノ惡弊缺點ヲ除キ新ニ本部ヲ創設シ眼中營利ノ觀念ヲ度外シ眞ニ通交機關タルノ目的ヲ徹底ス可ク多數最新式ナル完全ノ自動車ヲ準備シ左記既定線路ノ外逐次線路ヲ擴張シ地方發達交通產業ノ促進ニ貢獻シ日ヲ趁フテ逐次汎ク半島文運ノ發展促進ニ貢獻スルニ努ム可シ

然レバ汎ク諸賢ノ御利用ヲ俟ツ

一　本自動車部ノ綱領ハ旅客ニ滿足ヲ與フルヲ以テ主眼トス

一　本自動車部ハ旅客ノ多少有無ニ關ラズ每日定期運轉ヲ爲ス

一　本自動車部ハ自動車ニ最新式暖爐ヲ用意シ冬季中ト雖モ車內溫度ヲ快適ニシ以テ旅客ヲシテ愉快ナル旅行ヲ爲サシム

一　其他萬般ノ設備待遇ニ最善ノ努力ヲ施ス

◎當日自祝一割引

開業當日樂隊先頭各車滿飾數臺連結威風堂々原州ニ向フ

線路

一　京城　原州間　每日午前八時發車

一　原州　春川間　同

一　原州　江陵間（特定聯絡）同

◉京城市內貸切

賃金表

京城							
.九〇	廣津						
二、七〇	一、八〇	慶安					
三、六〇	二、七〇	.九〇	昆池岩				
四、五〇	三、六〇	一、八〇	.九〇	利川			
六、〇〇	五、一〇	三、三〇	二、一〇	一、五〇	驪州		
七、五〇	六、六〇	四、八〇	三、九〇	三、〇〇	一、五〇	文幕	
九、〇〇	八、一〇	六、三〇	五、四〇	四、五〇	三、〇〇	一、五〇	原州

原州					
	橫城				
一、九〇	.七五	倉峯			
三、〇五	一、九〇	一、一五	洪川		
三、八〇	二、六〇	一、九〇	七五	鳳鳴	
五、一〇	三、九〇	三、二〇	二、〇五	一、三〇	春川

京城鍾路パゴダ公園前
大陸會
半島自動車部
電話二七九七番

大正九年十月十四日
志田勝信

内外電報

希臘皇帝御容態

希臘皇帝の病狀は一層重きを加へたりといふ(同盟電)…(一倫敦來電)

愛蘭總督辭職せん

愛蘭總督は近く辭職せん(倫敦來電)

英佛乖離調停失敗

伯林在佛國大使ドラクロア氏は對獨賠償金問題に關する英佛兩國の乖離を調停せんが爲倫敦を訪問したるも結局失敗に歸したり(紐育來電)

英佛賠償問題交渉

數日前英佛兩外相カーゾン卿は佛國政府に通牒を送り聯合國專門家より成る聯合委員會を任命し獨逸賠償金支拂問題を決定せん爲財政委員會を獨逸コロン市に開催する事を提議したる佛國政府は是に對して左の如く回答したり(倫敦來電)

一、賠償委員會中更に專門家を選んで獨逸の支拂能力に就て調査せしむる事

二、外交委員會をもブラッセルに於て開くべき事

三、該會議には獨逸委員を參加せしめざる事

獨に大罷業勃發

獨逸諸各市の勞働者に賃金値上げを要求して總同盟罷業を開始し其の結果ドレスデン、ケムニッツ、ライプチッヒは瓦斯電氣水道の供給を全部斷たるゝに至れり當局者の是れに對する態度強硬にして賃金增加要求に應じ難しと宣言せり(伯林來電)

條約效力發生期

露波講和條約の效力發生期は來る十月十八日午後十二時なり(巴里來電)

反過激派各地に蜂起

共產黨軍隊派遣無效

ワルソー來電に依れば露國各地に於て過激派政治に反對せる暴動頻々として發生しつゝありサラトフ縣に於ける農民は大規模の叛亂を企て之を鎭壓せむ爲共產黨軍隊派遣されたるも勢力微弱の爲何事もなし得ず(倫敦來電)

間島出兵闡明

――外務省聲明書發表――

琿春事件に關聯して政府は愈々間島方面に對し我軍隊を出動せしむるに決し外務省より左の如く聲明發表せられたり

帝國政府は不逞鮮人の間島に於ける彼等の活動に省み曩に在京奉天及び吉林に於て再三支那側と交渉の結果支那側は討伐を實行せんとしたるも支那側に於ては我邦の主張に應ぜず漸く支那側の討伐隊を組織したるも是れが討伐實行に着手したるも殆ど何等の實績を擧ぐるに至らず其結果却って不逞鮮人の活動を激成し轉じて支那馬賊及び過激派露人と携提し一團組織して各處に跳梁せしむるに至り茲に間島方面不逞鮮人の一變して猖獗に甚だしく加へ遂に最近琿春不幸なる兇變を見るに至りたり…

此際間島方面に於ける自衞上必要なる警備を全うし兼て不逞鮮人及び匪徒襲擊の禍根を一掃し以て我接續地帶に對する脅威を芟除する爲必要なる手段として更に軍隊を派遣し此不安なる形勢に處するの外無きを認め取敢ず龍井村方面…に出兵の已むを得ざる事情を諒とする旨十月九日我小幡公使に向って言明したるに越えて十二日支那政府は十一日附公文を小幡公使に交附し俄に前言を飜へして我邦の增兵を拒絕し來れり帝國政府が隣邦の抗議に顧み努めて其諒解の下に協調の精神を以て事を遂行せんと欲したる拘らず支那政府に於て遂に應ぜざるに至りたるは帝國政府の遺憾に堪へざる處なり然れども間島地方一帶の形勢は刻々危急を告げ該地方に於ける領事館並在留帝國臣民保護警備の爲帝國政府の現に執りつつあるに後に至りて是が爲中止する事能はず茲に自衞上止むを得ざるを以て是を續行する事に決し其旨支那政府に通告を發したり斯如く帝國政府は保護警備の爲必要なる兵數を同地方に增派すると同時に今回の事件の禍根を斷ち更に日支兩國協同して掃滅に從事せんと欲す而して本件出兵たる素より間島方面に於ける危急の形勢に應ずる措置なるを以て同地方にして不逞鮮人並匪徒に關する危懼な小事態平靜に歸するに至らば直ちに撤兵すべき事言を俟たざるなり(東京來電)

禍根剗滅の要あり

立花關東軍司令官は琿春事件に對し此の際出兵を斷行し根本的に禍根を剗滅する要あるべく而して此の際日支兩國が一致協同するは最も必要なりと語れり(旅順來電)

共同の敵を擊攘せよ

――大野朝鮮軍參謀長談――

「琿春間島方面へ其後漸々しき變過激化を見るに至るやも圖られず化なく數姑く小康を得つゝあるが其の然るに及んで日支兩國が後悔の如きも賊團の暴動は依然として煥爛を縱むも竟に十日の頭たらむのーを經て各國に配給せられ居れり…

… 東洋共同の敵を擊攘するに努むべきなりと」

浦鹽内閣分裂乎

有產階級活動開始

…浦鹽內閣の有產階級に…(東京來電)

督軍廢止運動誘起

李純氏の死と張氏復活問題

李督軍の逝去と同時に張氏の復活說流布され其後任問題を中心として二派の注意を喚起し…(上海來電)

加州排日の眞相

(中)

――其根本的解決策――

劍橋生

山東問題の眞相其是非は問はず…日本が第二のドイツにして…

米國憲法

に依れば外國との條約は上院にて批准せられざれば條約としての効果を有し得ない、然るに上院の外交委員長ロッヂ氏はマサチユセッツ州より選て日本の缺點を暴露しに力を盡し…

共和黨員

は口を極め…

侵略的な

ることを其…

市民權を

與へず…

青森市會解散さる

床次內相は十四日市制第百六十二條に依り青森市會に解散を命ぜり塚本地方局長は解散の理由に關し左の如く語れり(東京電)

內務大臣は昨年十月二十二日青森市會に對し市長推薦命令を發し爾來選舉は一回もなさず議員中に選舉を要求するものあるも議長は一も市長詮衡の機會を與へず約一箇年に亘りて市長空位の儘に置くは市會の職責を盡さざるものにして自治上甚だ不都合なるを以て市會改選の必要を認め已むを得ず解散を命じたる次第なり

朝鮮飛行機班成る

今回朝鮮第十九師團に飛行機班を創設する事となり各航空大隊より人員を徵集し近く○○に集合○○○にて出發の筈にて太刀洗第四大隊よりは下士二名兵卒六名徵募さるべし(下關來電)

李督軍の後任

王督軍は李督軍の訃報に接し直に弔電を發して哀悼の意を表せり俗說に王督軍は其後任たるべしとの說あり(漢口來電)

饑饉救濟局員任命

張志潭氏は饑饉救濟局長に陸徵祥氏は同名譽總裁に各任命されたり尙饑饉救濟局は饑饉公債を發行し一千二十元とし十二月十日を以て…

教育功勞表彰

三十日は敎育勅語公布三十年相當するを以て文部省に於ては各學校をして一齊に紀念式を擧行せしめ敎育に功勞ある人士を表彰する由(東京來電)

海軍論功行賞

歐洲大戰に關する我海軍の論功行賞は十一月一日及其の後に於て順次發表せらるゝ事となれり(東京來電)

十四師團長宴

西伯利駐屯の日本軍第十四師團長は十四日當地の西伯利代表者を招きて別宴を開きたり師團長は日露兩國の親善に就て述ぶる所あり之に對し日露協會委員長ダイトク氏は答辭を述べて露國人は其隣邦人と親善ならんことを望み更に進んで戰鬪を求めずと述べたり(哈爾賓來電)

松方內府參內

松方內大臣は十四日午前十時十五分參內 天皇皇后兩陛下の天機を奉伺したる後內大臣府に入り上奏諸願其他の事務を處理して退去せり(東京來電)

滿鐵制度改正

滿鐵會社は井上工學博士入社に連も部屬制度を改正すべし(東京來電)

ヂエオルジヤ情事

同國橫濱名譽領事ニゼラーゼ氏談に依ればヂエルジヤ共和國については餘り日本に知られ居らざるが同國はトランスコーシン沿岸にある極めて富裕の地にして彼のバクーの石油田をはじめヤンガンの生產世界一と稱せられ其他羊毛棉花小麥等も其產額以上に多く輸出も多量に產し常に佛國のボルドーを經て各國に配給せられ居れり今次の歐洲戰に於てトルコ軍との交戰地となり同地方は非常に物資の缺乏を來しつゝありとか是等原料品と日本の製造品との交易は將來非常に有益なりと信じ居れり

辭令

(十四日附)

任朝鮮總督府醫院長 敍高等官一等 從五位勳五等 志賀潔

朝鮮總督府醫院長 芳賀榮次郎

依願免本官 朝鮮總督府事務官 原正鼎

同 笠井健太郎

同 立石顧一

同 朝鮮總督府判事特別任用考試委員 水野重之政

爲替貯金狀況

京城郵便局に於ける九月中の爲替貯金受拂狀況を聞くに其の受入に在りては內國爲替十八萬五千三百五十圓、外國爲替千四百三十六圓郵便貯金四萬五千三百七十九圓、振替貯金三十萬四圓遞信官署歲入金受四百八十五圓、此の受入總額八十二萬七千六百四十六圓、府公六十六萬三百圓に上り之を昨年同期の七十三萬三千二十六圓に對比するときは七萬二千七百二十六圓を減す又其の拂渡に於ては內國爲替三十三萬五千四百三十九、國外國爲替千六百六十三圓、郵便貯金四萬一千百九十二圓、振替貯金百九十九萬八千五百七十八圓、遞信官署歲出六萬八千四百七十三圓此の拂渡總額二百四十四萬五千三百四十五圓を算し之を昨年同期の三百十五萬八千九百九十圓に比するときは七十一萬三千六百四十五圓を減じたり、以上の外遞信爲替資金等の出納額を加算せば昨年九月分六百二十五萬三千六百四十一圓本年九月分六百四十八萬五千八百十五圓にして通計百七十六萬七千八百二十六圓を減せり

手拭地は鈍狀

財界不振以來惡角閑散なりし手拭地は近く需要期を控へて昨今稍々活氣を呈せる狀態にて地方注文も漸々入りつゝある由なるも當今の財界は一般に現金難なると生地相場不定のため何れも當用小口商內に止り又一方問屋側に於ては加工に相當日子を要するため最盛期に應ずる製品準備に取掛り度き意向なるもの如きも何樣金融不如意と生地木棉相場の浮動に前途の見込付かざるにより何れも手控への有樣にて相場は可なり強含みなるも未だ活氣乏しき狀勢なり

銀行員俱樂部會

水野總監臨席

十四日午後六時半より京城ホテルに於て開催せる銀行員俱樂部は鮮銀專務取締役美濃部俊吉氏の發起…

鮮人側實業大會

鮮人側實業家有志は民心惡化の向と不逞者の跋扈跳梁は漸々良民の苦痛とする處にして其の憂ひは內鮮人に差別あるに非ず憂を憂ひとするに於て人後に落ちるものに拘はらず去る十日より三日間京城公會堂に開催の全鮮實業家大會に際し遂に參加の勸誘なかりしは遺憾に堪へずとし來る十七日頃を以て鮮人側の實業家大會を開催し時局救濟につき懇話を試むべく目下着々進行中なりと傳へらる

朝郵決算案內定

朝鮮郵船にては十五日重役會を開…

社告

本社は從來釋尾春芿氏を社長とし青柳綱太郎氏を副社長とし眞繼義太郎氏を主幹とし三人の共同經營に屬せし處今回經營上の都合に依り青柳眞繼兩氏脫退して社長たる釋尾春芿氏一人の經營と致し益々社業の發展を圖る事に致候間此段謹告到候

尙兩氏は本社を脫退致候も今後本社の社友として本社に聲援を與ふゝとに相成候を以て是亦併せて謹告致候

大正九年十月十二日

京城日日新聞社

謹告

從來小生等釋尾氏と共に京城日日新聞を經營致し來り居候處今回都合に依り同社を脫退致候在社中の御眷顧を謝し將來共御厚誼の程願上候也

大正九年十月十二日

青柳綱太郎
眞繼義太郎

謹告

以上社告及謹告の通り青柳眞繼の兩君今回本社を脫退致し小生獨力にて經營致事に相成候に付飽迄孤軍奮戰社運の發展を圖るべく決心致し陣容を新にして奮戰の第一線に立ち候益々四方諸賢の御勢援を願上候

大正九年十月十二日

京城日日新聞社々長 釋尾春芿

安信取引減資乎

安東證券商品信託會社は資本金二百萬圓を五百萬圓に增資し會社を解散して安東取引所を新設する事となり新株拂込徵收中の處財界不況のため拂込總額を來し無期延期を發表したるが目下大田安信專務等は太連に赴き小泉策太郎氏と協議中と聞く所に依れば結局五百萬圓の資本金を三百萬圓に減ずる由

京春間道路修理

京城春川間の通路忘憂里金谷間は過日の豪雨に際し道路破損し未だに修理成らざる爲自動車不通にて從つて旅客郵便物は二日を要し交通不便を告げつゝあるが其筋にては近く修理の完成を期すべしと

殖銀羅南支店開期

殖產銀行の鏡城支店を羅南に移轉同時に鮮銀羅南出張所の營業權其より是完より金融依然梗塞し諸物價…

鐵道朝郵連帶貨物

近來朝鮮郵船會社連帶貨物にして輸送の途中紛失破損中實減量等の事故漸增の傾向あるを以て荷主は荷造に際し荷物の性質重量其他を考慮し長途の輸送並積卸に堪ゆる樣完全に荷造すること荷印荷札の文字を鮮明に記入すること及び荷札は容易に脫落せざるものを使用し必ず二枚以上を結ぶ付くること注意せられたしと

新穀獻納手續完了

朝鮮に於ける新穀獻納は齋藤總督より本月十三日式部長官に宛送納の手續完了せし由なり

仁川客月金融概況

九月中に於ける仁川金融概況に就き殖產銀行支店調査に依れば月初三十三圓臺を維持せし米價は作柄の大勢定まり期米の軟調に連れ弱きに支へ難く月末二十六圓台迄に低落せり然るに地方殘存米は案外尠く…

風塵錄

英國海軍將校入京

人事

商況

大阪株式

東京株式

十五日大阪入電後場

十五日東京入電前場

京株市場出來値

出來高

鮮銀券日報

仁川期米特電

十月十五日前場

東京期米特電

十月十五日前場

大阪期米特電

十月十五日後場

本社電話番號 編輯用三二一八番 營業用三二一九番



御渡鮮の久邇宮殿下
久邇宮邦彦王殿下には十一日午後七時御...

四千の軍兵を擁す セ將軍の新根據地

ダウリアの最近情勢

八臺の飛行機中空に亂れ飛び 威容儼に四民堵に安んず アタマンセウンゲル男

ダウリヤから歸來した某支那人はゐる哈爾賓に向ふ乘客は凡て一度語る「目下ダウリヤには約四千餘滿洲里で乘り替へること從來通り名のセミヨーノフ軍在りて戰車にてある先頃セミヨーノフの列車が市内の警戒をなし一般市民に安堵衝突してアタマンが負傷した等のを與へてゐるさうして一方セミヨ噂が起つたが全然嘘でセミーノフーノフ軍は絶へず知多との治安適の兵士數名負傷した丈であつてア絡を執つてアタマンはワゴン内にタマンは健在で矢張り三軍を叱咤在つて絶へず知多ダウリヤ間を往して居る最近は支那人の義勇兵が來してゐる市内は一時日本軍の撤セミヨーノフ軍に投じて來る尤も退後縮れ切つてゐたが最近は

セ軍駐屯

で何等の... バロンウンゲルと連絡を執るから...の事であるがウンゲルは一週に一度きつと

飛行機で アタマンセ

ミヨーノフを訪問し何時も過激派の掃蕩に就き時局談に花をさかしてゐる近頃ウンゲル軍は西部西伯利方面の各所に散在し居る反過激軍と連絡を採る可く企圖中でセミヨーノフ軍と相呼應して一擧にウエルツネを衝くと噂をされてゐる最近日本內地新聞には此等の軍隊には一臺も飛行機はないと報載されてあつたが今回人の談には八臺の飛行機が絶へず空中を飛翔してゐるさうである云々

何もなく鮮人住民は喜んで營々と働いてゐる該地方の通貨は既にセミヨーノフ白札禁止狀態され一般流通してゐるのは金留貨であるかセミヨーノフ白札が通用してゐる其の相場は實に金貨一留に對して七萬留と云ふ途方もない相場を示してゐるあまりに市中の景況は不靜の狀態になつて特別以外はないが知多滿洲里間等の鐵道線には二日目に一回の

旅客列車

が運行され無論貨物列車は各日に運行されてゐるさうである云々

松花江流域に 乘客に扮し汽船を襲ふ

支那兵の武裝を解除し 將校を銃殺して掠奪す

松花江流域にては馬賊の行動依然として行はれつゝあり最近黑河を經したる一汽船松花江に差掛るや乘客を裝ひて乘船したる十餘名の馬賊は遽かに便乘し支那兵の武裝を解除して乘客と共に監禁し貴重品を掠奪し支那將校を銃殺し乘客船員七名殺害して上陸せり船長は自ら河中に投じて溺死せり

支那軍馬賊を擊破す

交戰二時間餘三十名を殪す

ボクラチナヤとサンチヤゴ間道路西側の土匪討伐の命を受けボクラチナヤを九月二十七日出發したる支那軍は兵數約二百は廿九日太平溝ボクラチナヤとサンチヤゴとの中間に於て百名より成る馬賊と遭遇し三時間半に亘る交戰の後馬賊三十名を殺し小銃三十挺彈藥四十を押收し三十日戰鬪を終了してサンチヤゴに入れり其の馬賊は頭目龍頭と謂ひ閉り敗れて東方山中に逃走せり（三市來電）

不逞一派豪語す

機會あらば頭道溝を襲はんと

間島地方の不逞鮮人は敦山草帽村三道溝サイリン河方面に集合しつゝありて日本軍出動の報を聞くや組織に殉ずるは此秋なりと豪語し應戰準備に怠りなく一方浮浪支那人を驅き集め不逞團中に加へ馬賊と相提携結束し我軍に對抗し機會あらば必ず頭道溝を襲はんと揚言しつゝありと報ぜらる

慘虐の跡物凄し

血痕今尙泥土に印し

我派遣軍活躍を續く 磯林將軍と陶道尹の會見

琿春附近未だ穩ならず

總督を

目覺けて 實は鮮童の石

意外に

其妻を 動かし妻よ

故寺伯一週忌

傳記出來

來る十一月三日は故寺內元帥の忌に就き嚴かなる佛事を營み故總の參拜ある由尙故元帥の

五十三名の不逞集團

區長を拉去す 黃海道の初秋

原始時代の物々交換

新政に苦む莫斯科農民

近モスコー近郊の農民の生活に就て巴里新聞の報ずる所に依ればも農民は一般に裕福に見ゆるも其の內部に於ては可なりに窮迫せ迫るも少なからざるが如し即ち農民は穀類の如きは多少貯藏し農民の女の如き衣服を着し踊り

紅燈私娼ローマンス

シベリヤに泣く女 (三)

戀も希望も目的もなく 借財の苦に責められ お蝶は遂に足拔の決心

身の周圍に群がる新しい借金が段々とお蝶の身を脅かす樣になつて來た。足繁く遊び來さうな馴染客の甲乙に頼つて自分自ら戀を投げかけても見た。

情夫の情

に縋つてせめても嬉しい歲月を送つて見たいとも思つたからである。けれ共男の心も冷かつた。彼の女の胸を燃ゆる樣な男はお蝶の眼の前に現れて來なかつた。

稼業を休

稼ぎ高を

晚春の暗

不景氣に

滿洲の

後追うて

派遣軍の 琿春に移住する娘子軍

五重の塔

から飛び下りて自殺す

統計に依る

護送の途を襲擊

犯人を奪ひ返さんとす

各町總代

祭禮氣分全市に漂ふ

不景氣風は何處へやら 各町思ひ〳〵の催しや 奇拔な趣向のかずかず

京城神社大祭は今日から

新婚の若夫婦

實は新落者

配達不能の 郵便物一萬四千通

「御存知より」など言ふ 顚る振つたのが約三割

宙に迷ふ

配達不能

京城本局が首位を占めて約三割を占めて居り全鮮一萬四千餘通の約三割を占めて居る相である。鮮人間の通信には郵便不能が一番多く夫れが宛名先所がないため宙に迷ふて了ふもの

餘程異に

して葉書類の多くは旅館料理屋等からの年賀狀暑中見舞等もあるが大部分は藝娼妓仲居等が客に宛た呼出狀や戀文が多く所謂「御存知より」とか「エム子」と言ふたやうな甘つたるいものばかりであるが之等は送る者が孰れも口から出任せの住所氏名を語つて遊んで來たのを眞に受けて女の方から出したもので孰れも中の文句は

赤面する

惡道路

塵埃と 仁川名物の砂煙

須らく丘を背に海に面して建てられし仁川の街は外部から見ると正に山水明媚の都で在るが足一度府內に入れば蕎の如き凹凸の道路は

京城高女運動會

山町京城高等女學校にては十五日午前九時より運動會を擧行し豫定の通り進行して午後四時半盛會裡に解散せり

大砲や小銃の藥莢

が全部紙製に改造される

其原料は松花江の大森林から 過激派の宣傳は先づ婦女子へ

在ハルビン中日實業公司の技術者...

斧の味

軍旗の親授式

第十九師團完成

十五日朝宮中に於て第七十六の聯隊の軍旗親授式を行はせられたり是にて第十九師團は右聯隊の完成せる次第なりと

伊庭大尉光榮

危篤の報天聽に達し侍從を差遣

七五三繩

素人芝居

花柳界の今昔譚 (三)

眞赤な炭火を錦の帶で 受止めた若菜の意氣と張

此頃の藝者衆には度胸がない 料亭千歲の女將語る

俵神輿に

小説 判官 照手姫

旭亭櫻山口演　舟　記

「九十九」

見た大頭の三大頭領の手下の者共が居る中にも、七人の武者振りの好い男が居りました。やがて家の者に案内されて「さて此七郎右衛門に御願ひ申したい事がございますが」兵「何事で」七「お聞き済み下さいますか」……三頭領を申し、後見には小栗九郎、其の年太郎、大八郎の手下の者が居ると申す者もござります。……討たれたのが今夜叉、兵助殿に掛かつたのが、其の天狗坊でござりました。

て見えない、それを見付けて……と出て来た小僧一人……「何だ此處に……」……暫らく其の……

處に待つて居ろ」中へ入つて暫らくすると、今度は三四人出て……の吊り繩を下すガタ〳〵ツといふ音がして、數十間の吊り……が其處に架かりました。之れを

います。既に角三頭領の居りまする以上は、中々安心がなりませぬ。恐らく我々のみならず四國の名家へ乗り込む時は、悉く彼等の爲に滅ぼされてしまひませう。私の口からは一族四十有餘の家納にございます。若し四人のお方のお力にて右の賊共を退治して下さらば、何か御企でもあらう時、必ず當家に於て残らず軍用金を承知を願ひたう存じまする」と……後年小栗家再興の軍用金は、全く此處から出ましたのでございます。此時兵助大八の兄弟は一も二もなく「委細承知致してござる」と……山の様子、道の順序……年太郎の智をさせて……兄弟二人賊に姿を變へて大膳にも知天ケ嶽指して登つて参る……馬の脚や牛の背のやうな嶮阻を越えて……樣子があつてその行衛は知れ

見て兄弟は驚いた、立派な軍用、其吊り橋を渡つて見ると、案内されて奥へ通つて見ると、三頭領の中の九頭龍九郎、年の頃三十格好、色飽まで黒く、その顔に是れは又目の覚めるやうな美人を引付け、酒の酌をさして居る。九「丹波の國金剛山鬼夜叉の身内、汝等二人は何と云ふ」兵「へエ山猫の兵助、山猫の大八と申します」……九「シテ用事は何んだ」兵「へエ私共の親分は丹後金剛山に住ゐを致す賊の名を鬼夜叉、實は……」……九郎殿、阿武隈重兵衛殿、妙義の太郎殿、此のお三人は我々同志の者に違ひないから、……いふお使ひを……



石鹼製造　京城元町　生田組工場　電話八三六番

日活　西洋　御料理　黄金　黄金町四丁目黄金館入口　牧野楽

演藝案内

◎喜樂館　本町五丁目　電話五九七番　十月十五日より特別大興行　パテー=ウ=三…
日活向島派の大作品　悲劇 散り行く花　全五…
……忍び泣く涙の女が……
米國パテー女社大傑作　連續冒險大活劇　電光石火　全卅一卷
第一編……パールホワイト嬢……

◎黄金館　電話二三六七六　當る十月十五日より　特別興行
大活劇「原名山猫」米國バール…ボーア會社作

日活京都派新派　稲荷怪談　水茶屋美人　舊劇 笠森お仙　全七卷
……

人情活劇　第一聲　全五卷　名女優ジヤツキーサンダース嬢出演

説明者 泉 春葉　エメラルドの様な涼しい瞳みを有した美しい乙女は父親の溢るゝばかりの慈愛の手に育てられて我儘勝手なお転婆で……

連鎖劇 田宮坊太郎　全五卷　澤村四郎五郎一派　第十八、十九、二十節上場

新派 金名　現代劇 血潮の鳴戸　全五卷
生駒山の旗を標泊する不思議な彼の顔は限りなき憤怒に燃えて居た……

◎大正館　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　電話八七三　當る十月十五日より特選大寫眞提供
●喜劇「佛國人東洋奇術」長尺
●ニコ〳〵「愛犬の復讐」長尺
●尾上松之助大車輪劇　舊劇「白旗八郎」全四卷
●米國ラスキー映畫　ウオーカ嬢主演

朝鮮郵船株式會社

◎元山出帆……
◎釜山出帆……
◎木浦出帆……
◎仁川出帆……

京城取扱店　京城府本町三丁目　朝鮮郵船株式會社京城出張所　電話一八四番
元山支店……釜山支店……

「孤松の棧道」全五卷……
「黒水晶」全六卷……

てんかん　ヒキツケ治療不思議に治る責任保證付家傳の妙薬……和歌山市片岡町　富士…

男女 好職業　自山商會産業部　東京市白山坂

るいれき　キラズ　全治する日本で唯一……◎療癧藥院

鼻 緒 内職　下駄履物の…東京本郷區…

男女 毛深き方へ　害なき最新發見の毛生止藥……

賣物……

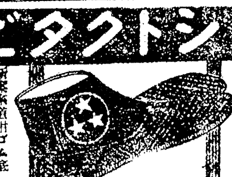
勸業債券買入　京城太平通一ノ…

實に效あり　かぜにつ　少しのかぜ、ネッでも、すでに早く、速かに此の藥をお召せ。

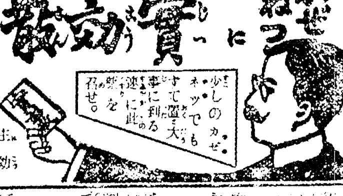
主效……
師岡天然堂　東京市神田明神下

◎五百圓で……

ヨシトク　ビタクトシヨ　德島足袋會社







電氣

生活改造ノ威力

賜 聖上陛下 皇后陛下 御嘉納御買上 之光榮

無くてはならぬものは蓄電池の使用廢物利用で家族も來客も無上の樂しみと便利機械で電氣が製して入れられる理想通り電氣燈が小電燈の電氣を移して小さな容器に蓄へ置き自由に特歩きが出來、使つて無くなれば誰でも容易に補充が出來、何回でも繰返して使用が出來る、鷲く程經濟と便利なる專賣特許品を蓄電池を早く試用して實益を得られよ本社が實益實效を責任を以て斷言保證す
旧見の電燈會社が横暴とか電燈が暗いとか料金が高いと苦情を申す必要は無い、早く此電燈を使用して夫れ等の解結をしてはどうですか

本品の特色

應用品目錄

專賣特許輕便電熱器 各種

炭價暴騰驚くに足らず　オンドル用

本社ハ左記ノ場所ニ營業所及分工場ヲ開始致シ候ニ付特約販賣御希望ノ御方ハ至急御來談相成度候

京城本町五丁目四二
大日本電氣工業社營業所

京城岡崎町九十番地ノ二
大日本電氣工業社分工場
電話 九五五番

電氣

京城府清進洞
江原代書所
電話 三一七二番

李王家御用 諸官廳御用
ホワイト社
加藤誠治

鐵板 薄物各種 ストーブ 各種 入荷
京城本町 和洋金物商 佐藤半次郎商店

大豐作
清水式特約店　大邱元町　杉原商店
清水式精米麥機


本場大島紬
本場織元
出張所
電話一〇九一番
京城本町一ノ五一
勝久京城支店

日本自動車學校
東京蒲田驛前

聖易學指南 井上大我
自宅鑑定
京城……

貴金屬 寳石類 製作販賣
横堀直男商店
振替京城七一九四番

染物業 龜屋染工場
京城永樂町二丁目
電話一五八五番

開業一週年記念
半額大賣出し
期日 十月十三日より同月十六日まで 向ふ三日間
西洋料理 すきやき
金波館支店（京城堅志洞）
自由倶樂部

滋養痰咳特効藥

和光堂京城支店
京城本町一丁目一五
電話九九九番

セーノー式稻麥扱機
新案特許 七大特色を有せる斯界の覇王

大阪市北區上福島中一丁目
農具、園藝、機械器具製造發賣元
盛農社

AKATAMA
今からの胃腸には
赤玉 アカダマ固腸丸
樂天堂製藥株式會社

會長古屋鐵石先生著
色魔讀本
秘密獨習 成功保證 女催眠術
催眠術獨習用書目無代進呈
精神研究會
定價金五拾錢

藤田浪人著
好評噴々
全譯解説 ルソー民約論
新鋭堂書店